



伊那市
INA CITY

未来への対話

伊那北高等学校と伊那市議会 意見交換会レポート

私たちのまちの未来を、 共に考える。

伊那市の未来を担う高校生の皆さんの声に耳を傾け、共にまちづくりを進めるため、伊那北高等学校の生徒と伊那市議会による意見交換会が開催されました。このレポートは、その活発な対話の記録です。

Key Facts



日時：令和7年8月25日（月）



場所：伊那市役所



参加者：生徒32人、教員3人、議員21人

未来からの声：高校生たちが提起した3つの視点

「伊那市への愛着はある。でも、このまちで暮らし続けるためには、考えたいことがある。」



日々の暮らしと移動の利便性

通学や日常生活に欠かせない
交通インフラの課題。



若者が集い、過ごす場所

学習や交流の拠点となる、
居心地の良い空間の不足。



伊那市で働く、暮らす未来

Uターンを考えた際の、仕事の
選択肢と生活環境への期待。

Dialogue 1: 毎日の「足」となる交通インフラ



高校生の視点

伊那北駅の利便性向上と公共交通の拡充

- 多くの生徒が指摘：伊那北駅の改札増設、待合室のエアコン設置、夜間照明の改善。
- 駅前の安全確保：歩車分離や歩道橋の設置。
- 通学路の整備：走りやすい自転車通学路を。
- 運賃と本数：電車・バスの運賃引き下げと、通学・部活時間帯に合わせた増便。



市議会の考え

まちづくり全体の中で、粘り強く取り組む

- 伊那北駅周辺: 高校再編をきっかけとしたまちづくり事業の中で、総合的に検討。生徒の思いを反映できるよう働きかける。
- JR飯田線: JR東海に対し、毎年、沿線高校の要望を伝達。利便性向上のため、粘り強く働きかけを継続する。
- 路線バス: 利用者減により増便は困難だが、新しいまちづくりの中で引き続き研究。

Dialogue 2: 若者にとって「居心地の良い場所」とは



高校生の視点

学習・交流スペースと、魅力的な商業施設

- 切実な要望：テスト期間中に混雑する自習室や学習スペースの増設。
- 気軽に集まる場所：カフェや、会話もできる交流スペースが駅周辺に欲しい。
- まちの活性化：ドン・キホーテやコストコなど、若者が魅力を感じる商業施設の誘致。



市議会の考え

将来のニーズを見据え、駅周辺での確保を要望

- 現状認識: 市は既存施設（図書館、生涯学習センター等）で需要に対応できているとの見解。
- 今後の動き: 市議会としては、今後の高校生の集中を考慮し、伊那北駅周辺に学習・交流スペースを確保するよう市に要望していく。

Dialogue 3: このまちで「働き、暮らす」未来のために



高校生の視点

地元への愛着と、キャリア選択の現実

- 雇用の課題：製造業は多いが、希望する第三次産業（サービス業など）の選択肢が少ない。
- 経済的な懸念：都会との給与格差の解消への期待。
- 子育て環境：「子育てするなら南箕輪村」というイメージを払拭する、伊那市ならではの子育て支援策の強化を望む。



市議会の考え

魅力的な生活環境のPRと、若者への情報発信を強化

- 移住者へのPR：市は特色ある教育環境を強みとし、移住マッチングサイトで全国1位を獲得するなど、市の魅力を発信。
- 市民・若者向け：市議会として、市の公式LINE活用をさらに推進し、子育て情報などが若い世代に届くよう周知を働きかける。

Dialogue 4: 誰もが安心して暮らせるコミュニティへ



高校生の視点

防災対策と、多様な人々への情報発信

- 防災意識の向上：防災用品の備蓄義務化など、市民の意識を高める施策が必要。
- 避難所の課題：プライバシーと安全を確保できるスペース、防犯対策の強化。
- 外国人への配慮：「やさしい日本語」やピクトグラムを活用した、分かりやすい防災情報の提供。
- 若者への情報伝達：政治や行政の情報を、もっと分かりやすい言葉で発信してほしい。



市議会の考え

継続的な対話を通じて、施策への反映を目指す

- 生徒たちの探究活動「防災」発表は、重要な問題提起であったと認識。
- 外国人や若者への情報発信については、市の公式LINEの活用推進など、具体的な改善を働きかけていく。
- こうした意見交換会は、多様な市民の声を市政に反映させるための貴重な機会であり、今後も継続していく。

共有されたビジョン

「東京などの大都市を真似るのではなく、
伊那市が持つ『自然の豊かさ』という強みを
生かしたまちづくりをしてほしい。」

(意見交換会で多くの生徒から出された意見)

高校生から寄せられた主要望一覧（1/2）

交通・駅について

- 伊那北駅：改札口増設、待合室のエアコン・照明整備
- 駅前：歩車分離、歩道橋の設置
- 通学路：自転車通学路の整備
- 公共交通：電車・バスの運賃引き下げ、ダイヤ改正・本数増加
- その他：部活動の移動用マイクロバスの確保

まちづくり・施設について

- 学習場所：学生が利用できる自習・室・学習スペースの増設
- 交流場所：学生が気軽に集まれる交流スペースやカフェの設置
- 商業施設：若者向けの商業施設（ドン・キホーテ、コストコ等）の誘致

高校生から寄せられた主要望一覧（2/2）

行政サービスについて

- 子育て支援：「子育てするなら南箕輪村」と言われる現状の改善、支援策の強化
- 防災：避難所の防犯対策とスペース確保、防災用品の備蓄義務化
- 情報提供：外国人向けの防災情報提供とコミュニティへの組み込み
- 情報発信：外国人や若者にも分かりやすい情報発信

仕事とUターンについて

- 雇用：第三次産業（サービス業）の職種を増やしてほしい
- 待遇：都会との給与格差を解消してほしい
- 生活：公共交通や娯楽・交流スペースの不足がUターンの妨げになっている

対話から、次の一步へ

伊那市議会としての今後の取り組み

- ✓ **まちづくりへの反映**：高校再編をきっかけとしたまちづくり事業に、生徒の意見が反映されるよう働きかけます。
- ✓ **学習・交流スペースの確保**：将来のニーズを見据え、伊那北駅周辺に高校生のためのスペース確保を要望していきます。
- ✓ **粘り強い働きかけ**：JR飯田線の利便性向上のため、引き続きJR東海へ要望を伝えていきます。
- ✓ **若者への情報発信**：市の公式LINEの周知を市にお願いし、若い世代への情報伝達を強化します。
- ✓ **対話の継続**：今後も意見交換会を継続し、若者の声を市政に届けます。



未来への対話は、つづく。